

問 財政課 ☎027-898-6542

一般会計最終予算額
1,648億3,131万円

※各会計の数字は3月31日現在。一般・特別会計の数字は5月31日まで出納整理期間があるため、決算額とは異なります。

※各会計の最終予算額には繰り越し分を含みます。



市税	市民税や固定資産税、事業所税など 収 543億1,110万円 予 544億2,819万円 率 99.8%
国庫支出金	使い道が定めてある国の補助金や負担金など 収 301億7,164万円 予 342億3,262万円 率 88.1%
地方交付税	財源保障を目的に国税の一部が交付されるもの 収 166億871万円 予 165億5,873万円 率 100.3%
市債	特定事業などのために長期的に借り入れるもの 収 39億3,940万円 予 123億4,530万円 率 31.9%
県支出金	使い道が定めてある県の補助金や負担金など 収 79億6,581万円 予 116億4,732万円 率 68.4%
諸収入	広告収入など他の区分に該当しないもの 収 74億7,731万円 予 102億7,917万円 率 72.7%
地方消費税 交付金	消費税の一部を国が交付するもの 収 90億5,981万円 予 89億円 率 101.8%
繰入金	特別会計や基金からの収入など 収 40億6,602万円 予 41億6,469万円 率 97.6%
使用料及び 手数料	証明書発行の手数料や市営住宅の家賃など 収 28億256万円 予 30億9,124万円 率 90.7%
繰越金	決算上の剰余金などを翌年度に繰り越したもの 収 28億2,050万円 予 28億2,049万円 率 100.0%
その他	地方譲与税や財産収入、寄付金など 収 69億8,619万円 予 63億6,356万円 率 109.8%

● 特別会計

最終予算額1,136億5,895万円

会計名	予算額	収入率 (%)	執行率 (%)
競輪	383 億 2,289 万円	78.7	75.0
介護保険	353 億 9,587 万円	84.4	90.1
国民健康保険	324 億 7,823 万円	92.6	89.8
後期高齢者医療	59 億 9,194 万円	97.2	87.5
産業立地推進事業	12 億 7,910 万円	55.3	57.4
新エネルギー発電事業	1 億 2,396 万円	98.3	64.0
母子父子寡婦福祉資金貸付金	5,686 万円	95.8	35.3
用地先行取得事業	1,010 万円	0.0	0.0

● 企業会計

区分	水道事業	下水道事業	農業集落排水事業
収入予算	104 億 8,266 万円	110 億 3,378 万円	18 億 4,046 万円
調定率	94.1%	92.5%	97.7%
支出予算	123 億 7,995 万円	132 億 2,942 万円	21 億 7,428 万円
執行率	89.4%	92.5%	96.5%

※予算額には繰り越し分を含みます。
※調定率とは、予算額に対して収入が決定している額の割合です。

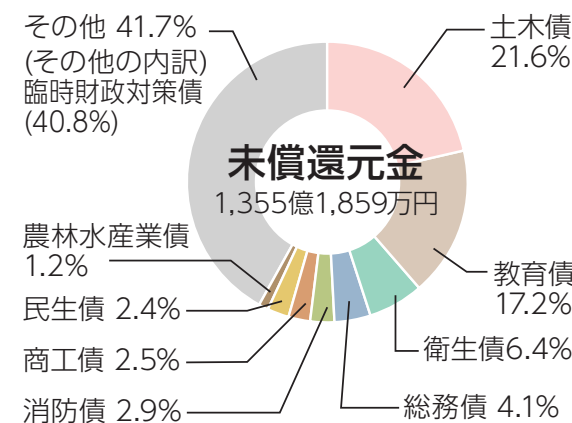
一般会計当初予算は1,525億1,180万円を計上しました。その後、物価高騰対策として、住民税非課税世帯への臨時給付金事業を追加したほか、小中学校の校舎等大規模改修事業などを追加しました。この結果、最終予算は1,648億3,131万円になりました。



民生費	各種福祉などの経費 ▲564億1,973万円 ▼668億4,257万円 ●84.4%
教育費	各学校・幼稚園、その他教育などの経費 ▲160億7,340万円 ▼208億5,623万円 ●77.1%
土木費	道路や河川などの整備・維持や都市計画などの経費 ▲144億4,461万円 ▼186億1,543万円 ●77.6%
公債費	市債の元金、利子の償還金など ▲150億2,628万円 ▼150億2,734万円 ●100.0%
総務費	市の内部管理、税金の徴収、支所運営などの経費 ▲117億4,170万円 ▼149億2,934万円 ●78.6%
衛生費	健康づくりや感染症対策、ごみの処理などの経費 ▲82億2,805万円 ▼104億4,703万円 ●78.8%
商工費	商工業・観光振興、消費生活対策などの経費 ▲72億5,570万円 ▼90億1,823万円 ●80.5%
消防費	消防や救急活動の経費 ▲46億6,970万円 ▼52億5,619万円 ●88.8%
農林水産業費	農林水産業振興の経費 ▲23億827万円 ▼27億3,618万円 ●84.4%
議会費	議会運営の経費 ▲6億5,276万円 ▼6億6,588万円 ●98.0%
その他	労働費、予備費、災害復旧費 ▲2億2,975万円 ▼4億3,689万円 ●52.6%

●市債の状況(一般会計)

未償還元金1,355億1,859万円



安全な場所にいる人は、避難所に行く必要はありません。洪水時の浸水区域でも、想定される浸水深によつては、2階への避難で安全が確保できる場合もあります。また、避難所のほか、安全な地域にある親戚や知人宅なども考えてみましょう。

● **気象情報、防災情報を確認**

本市では、まちの安全ひろメールや防災行政無線、防災ラジオ、ホームページ、市公式SNSなどで避難情報を発信します。平時から入手方法を確認してください。

● **ハザードマップで身の回りの危険性を確認**
土砂災害が起こりやすい場所や最寄りの避難所をハザードマップで確認しましょう。各家庭の生活状況に合わせた備えもしてください。

● **配布場所** Ⅱ 議会庁舎内防災危機管理課、各支所・市民サービスセンター

● **避難とは難を避けること**



ハザードマップ
はこちら

生。これから本格的な雨の時季を迎えます。自分の命は自分で守るという意識を持ち、災害時に適切な行動ができるよう平時から身の回りの危険性と自分がとるべき行動を理解しておきましょう。また、地域や身近にいる人同士で助け合い、災害に強く安全で安心して暮らせる街づくりをしましょう。

本格的な雨の時季を迎える前に
災害に備えましょう

図 防災危機管理課
☎ 027・898・5935

毎年、大雨による洪水や土砂災害が全国各地で発



● **避難情報を確認**

避難情報は、災害発生の恐れの高まりに応じて、5段階の警戒レベルとともに伝達します。警戒レベルと避難情報の種別は右図のとおり。警戒レベルごとのとるべき行動を確認してください。



まちの安全
エックス



ひろメール

やさしい日本語版の配信開始
デジタル避難訓練

問 県砂防課 ☎027-226-3633



6月1日(日)からぐんま大雨時デジタル避難訓練2025を実施します。今回の配信から、外国籍の人にもわかりやすい「やさしい日本語版」を追加。大雨時の避難方法について、一連の流れを確認してみましょう。訓練の最後に実施する防災クイズで満点を取った県民を対象に、抽選でＱＵＯカードＰａｙなどが当たります。応募は6月30日(月)まで。県公式ＬＩＮＥアカウント「群馬県デジタル窓口」の友だち登録が必要です。

